

「GIRLS TALK 2018 in 鹿児島」開催結果

平成30年2月17日(土)13:30~16:30

会場:鹿児島大学 学習交流プラザ2F 学習交流ホール

(実施概要)

就職を控えた女子学生や再就職を目指す女性が、希望の職業に就き社会の活力となるとともに、結婚や出産・育児等のライフイベントと仕事の両立を前提に、自身の“働き方”を描くヒントを得ることができるよう、女性が活躍できる環境を整備している企業の事例を紹介する。また、鹿児島における女性の活躍推進状況に関する講演やフリートークを行う。

【第1部】13:30~14:00

基調講演

テーマ『女性の活躍推進状況について』

講師 :NPO日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会
キャリア開発室 室長 森園 仁美 氏

【第2部】14:00~16:20

先進事例の紹介及びセッション

女性が活躍し、ブランド力向上につながった事例等

コーディネーター:森園 仁美 氏

パネラー ①株式会社アドヴァンテージ 代表取締役社長 中野 尚範 氏
②康正産業株式会社 代表取締役 肥田木 康正 氏
③株式会社オンリーワン 代表取締役社長 佐々木 正人 氏

グループワーク

パネラーと参加者でグループに分かれ、コンピテンシーカードを用いて意見交換を行った。ワークを通じて、立場(役割)が違ふと考え方、価値観も違ふが、お互いの考え方の違いを認め合うためには何が大切かを学んだ。

【第3部】16:20~16:30

施策の紹介、ブランド力について考える

講師:公益社団法人 鹿児島県工業倶楽部 事務局長 米山 高兆 氏
内容:知財等に関する施策の説明や資料を配布



参加者の声

- 「案外、欲が無い…？」の話はギクッとしました。働き続けたいけど無理なんじゃないか…？と思っている自分もいたなと気づかされました。
- 意識改革に必要なこと、やり方が理解できました。
- 現場は常に動いており、女性活用も同様に時代にマッチした対応が求められます。常に「感性」を大事にし、女性を活かす仕組みが重要と思われれます。
- ユニークな雇用形態に興味をもちました。多様な雇用に期待したいです。
- 「採用の仕方が変わってきている」というお話は、大変興味深かったです。中小企業支援に役立てたいです。
- 社員の声に沿って柔軟に対応していこうとされていたように感じました。しかし、経営者の方だけでなく働く立場の私も意見を言うだけでなく、自分の意見が会社にプラスなものをもっていけるかも考えられたらと思いました。
- 私の周囲は、働き方に理解があり、男性の育休や子どもの病気のための休暇を取っていたり、シングルマザーに対しても働き方を皆で考えたりしているので、大変な環境で働いている人の多さや、自分の働き方をマイナスに捉えている人が多い事に少し不安を感じました。